



ボタンピ(牡丹皮)

語源

種小名 *suffruticosa* はラテン語の sub- 「下に、次いで、亜〜、やや〜」 + frutex 「灌木、茂み」、つまり「やや灌木の」という意味。

また、和名の「牡」はオスのこと。ボタンは種子がでにくいことからオスの花とみなされたため（実際には多くの黄色い雄しべの中に雌しべが隠れている）。「丹」は赤の意味。

基原

Paeonia suffruticosa ボタン

ボタン科 落葉低木

薬用部分

根皮

産地

中国（山東、安徽、江蘇、四川、陝西など）、
日本（奈良、長野など）、韓国

主な成分

フェノール類：ペオノール、ペオノシド、
ペオノリド

モノテルペン類：ペオニフロリン

主な薬効

駆瘀血、通経、鎮痛、鎮静、消炎、解熱



代表的処方

消炎、鎮痛、通経薬として下腹部の血行障害、頭痛、婦人科疾患に用いる。

【桂枝茯苓丸】

ケイシブクリョウガン

月経不順、子宮筋腫、更年期障害などに用いる。
（処方内容） 桂皮／茯苓／牡丹皮／桃仁／芍薬

【温経湯】

ウンケイトウ

月経不順や不正性器出血、不妊症、下半身の冷え、主婦湿疹などに用いる。

（処方内容） 半夏／麦門冬／当帰／センキュウ／芍薬／人参／桂皮／阿膠／牡丹皮／甘草／生姜／呉茱萸

【加味逍遙散】

カミショウヨウサン

更年期障害や慢性肝炎などで、のぼせや神経症状のみられるときに用いる。

（処方内容） 当帰／芍薬／茯苓／朮／柴胡／甘草／生姜／薄荷／牡丹皮／山梔子

文献報告

【抗炎症】

Screening of bioactive compounds from moutan cortex and their anti-inflammatory activities in rat synoviocytes

Evid. Based. Complement. Alternat. Med, 2009, 6, 57-63

【抗ピロリ菌・抗潰瘍】

Anti-Helicobacter pylori and Antiulcerogenic Activities of the Root Cortex of *Paeonia suffruticosa*

Biol. Pharm. Bull, 2013, 36, 1535-9

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」「家庭の民間薬・漢方薬」「日本薬草全書」「漢方実用大事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp